

第6次総合計画
宇治市総合計画審議会
第2回専門部会①
議事要旨

宇治市

宇治市総合計画審議会第2回専門部会① 議事要旨

<開催年月日>2021(令和3)年12月12日(日)14時~15時20分

<開催場所>オンライン(zoom)

<出席者>

・委員

牧 紀男	京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授
真山 達志	同志社大学政策学部 教授
城市 哲	ソフトバンク株式会社 参与
多田 ひろみ	宇治市女性の会連絡協議会 会長
谷口 宜秀	市民公募委員
向山 ひろ子	市民公募委員
安井 大斗	市民公募委員

計7名

・技監・理事

小野 孝司	技監
平野 裕之	理事

・部長

濱岡 洋史	危機管理監
貝 康規	政策経営部長
本城 洋一	総務部長
脇坂 英昭	産業地域振興部長
福井 康晴	人権環境部長
五十嵐 司	建設部長
畑下 茂生	議会事務局長
山田 雅彦	上下水道部長

梅永 聖児

柯 慈樹

消防長

市長公室秘書広報課長

・総合計画審議会事務局

遠坂 尚

大北 浩之

佐々木 卓也

藤丸 博克

政策経営部長副部長

政策経営部経営戦略課課長

政策経営部経営戦略課副課長

政策経営部経営戦略課主任

計 16 名

<審議会次第>

1. 開会

2. はじめに

3. 議事

第 6 次総合計画第 1 期中期計画(案)について

4. 閉会

<会議内容>

1. 開会

【部会長】

それでは、定刻になりましたので、これより総合計画審議会第2回専門部会を開会させていただきます。

会議の開催に際して連絡事項を申し上げます。本日の専門部会について、傍聴の申請があり、これを許可していますので連絡します。

会議を進める前に、事務連絡がありますので、事務局からお願いします。

2. はじめに

【事務局】

本日はお忙しい中、ご参加いただきましてありがとうございます。会議をはじめます前に、事前に欠席のご連絡をいただいておりますので報告します。

◇欠席者の報告(稲垣委員、小林委員 計2名)

会議の進行に先立ちまして本日の会議資料の確認をさせていただきます。

《 資料① 第6次総合計画第1期中期計画重点施策(案) 》

《 資料② 第6次総合計画第1期中期計画(案) 》

《 参考資料① 第6次総合計画の全体像(案) 》

《 参考資料② 総合計画審議会意見及び市民アンケート分析結果(交通の利便性) 》

以上、4点の資料で会議を進めさせていただきます。

本日は、第1期中期計画の各分野の目標や主な取組について、第1回専門部会で議論いただきました重点施策も含めて議論をお願いしたいと考えています。

本日の議事の流れですが、まず、第1期中期計画(案)に関する参考資料である第6次総合計画の全体像(案)、これまでの審議会でもいただいた主な意見、第1回専門部会で意見をいただいた市民アンケート結果の分析結果を説明します。

次に、重点施策(案)と第1期中期計画(案)を説明します。

重点施策(案)は、第1回専門部会での意見を踏まえた修正を説明します。また、重点施策には、施策の達成度を測る成果指標の設定を検討しています。成果指標は、各分野で設定している指標の中から重点施策の視点に沿った指標を整理して設定することを予定しています。

第1期中期計画(案)の各分野については、各専門部会で設定しているまちづくりの方向に関連する分野について説明します。第1期中期計画の各分野は、「目標」「成果指標」「現状と課題」「目標達成に向けた主な取組」「関連する部門計画」で構成しています。なお、本日は「目標」「目標達成に向けた主な取組」を中心に説明します。「目標達成に向けた主な取組」について追加の取組や取組にあたって工夫などの意見をいただきたいと思います。また、重点施策の指標についても意見をいただきたいと思います。

3. 議事

第6次総合計画第1期中期計画(案)について

【部会長】

それでは、本日の議事に入らせていただきます。

まず、本日の資料について事務局より説明をお願いします。

(事務局より参考資料①②及び資料①の説明)

【部会長】

事務局から資料の説明がありました。これについて質問や意見などがあればお願いします。なお、議事録を作成する関係上、ご発言の際はその都度お名前の発言をお願いします。また、会議録は情報公開の対象となりますことをお伝えします。

【副部長】

前回は質問しましたが、重点施策2の施策の視点①-2に該当するかもしれませんが、ヤングケアラーの支援は、施策の一例の「子育て等の相談体制の充実」に含まれているか確認したいです。

【事務局】

ヤングケアラーの内容は、重点施策では「子育て等の相談体制の充実」に該当します。また、第1期中期計画の中でヤングケアラーという言葉も含めて具体的な内容は盛り込んでいきたいと考えています。

【委員】

未来を見据えた視点から、これから外国人の住民が増えてくることが予測されますが、市としての対応策について盛り込んでよいと思います。

【事務局】

ご指摘のとおり、外国人の住民は増えてきているため、対応策は必要になると考えています。そのため、第1期中期計画の多文化共生の中で取り組む予定です。

【部長】

市民アンケート結果について、榎島地域の交通の利便性が悪いという結果でしたが、向島駅や宇治駅もあると思いますが、実感としては利便性が悪いということか確認したいです。

【事務局】

市民アンケート結果から「駅が近くにない」「バスの本数が少ない」という意見が多くありました。確かに、向島駅もありますが、意見としては出てきていませんでした。

(事務局より資料②の安全・安心分野の説明)

【部会長】

本日の議論において重要な部分となります。それでは、委員から意見などがありましたらお願いします。

【委員】

分野2「犯罪が起こりにくい地域づくりの推進」の成果指標について、市民の視点から考えると、刑法犯認知件数の増減など犯罪に関する指標がないことに違和感があります。理由があれば確認したいです。

【総務部長】

刑法犯認知件数は年々減少傾向ですが、警察で把握している数値です。防犯推進計画の中でも議論がありましたが、コロナ禍で犯罪件数も減少しており、今後の見通しが不透明であるため、市としては、刑法犯認知件数の減少ではなく、各種啓発事業や市民とともに取り組む見守り事業などに関する指標として取組を進めていきたいと考えています。

【委員】

分野1「災害に強いまちづくりの推進」について、成果指標1「自主防災組織の組織率」は、自主防災組織は自治会・町内会の数のことか確認したいです。

【危機管理監】

自主防災組織の単位は、自治会・町内会単位が基本です。自治会・町内会ごとに防災マニュアルを作成し、組織化しています。連合町内会という形で複数の自治会・町内会と一緒に組織をつくっているケースもありますが、自治会・町内会をベースです。

【委員】

自治会・町内会が減少している中で難しい課題であると認識しています。また、安全安心は、自治会・町内会が力を発揮する必要があると思いますが、「自主防災組織の組織率」の目標値が85.0%でよいか確認したいです。4.目標達成に向けた主な取組の「1.地域防災体制の確立」の「積極的な活動を支援します」ではなく、より踏み込んだ取組を記載することはできないでしょうか。

【危機管理監】

最終的な目標は、すべての地域で自主防災組織が設立されることです。しかし、現在、コミュニティ活動が停滞している中で、普段の自治会・町内会の活動は低下していますが、防災をキーワードとした活動に関しては参加いただきやすいと考えています。そのため、具体的な取組としては、防災の重要性や自助・共助に取り組む必要性を認識いただくための出前講座などが重要になると考えています。

【委員】

今の説明を聞いて少し安心しました。全国各地で地震が発生しており、宇治市にも大きな断層がはしっているため、自治会・町内会の活動は、防災をメインとした組織活動が重要であると考えます。このような内容を明記いただけるとよいと思います。

【産業地域振興部長】

本年度から地域活性化補助金を創設しました。その中で、今後3年単位でさまざまな取組をしていただく内容となっています。本年度は、防災を通して、地域コミュニティを再生する活動をしていただく地域があり、補助金なども活用して地域の活性化や防災意識の向上に努めていきたいと考えています。

【委員】

防犯の観点から、最近の特殊詐欺やインターネット詐欺など、高齢者がターゲットになりやすい詐欺に対して、市として啓発活動を実施されているか確認したいです。

【総務部長】

特殊詐欺の啓発は、市ホームページや市政だよりに啓発記事を掲載するとともに、宇治警察署が作成しています地域安全ニュースも市ホームページに掲載しています。また、防犯講演会でも特殊詐欺に関する啓発は実施しています。

【部会長】

分野 1「災害に強いまちづくりの推進」の成果指標 6「浸水箇所解消率」をよりわかりやすい表現とするほうがよいです。また、3.現状と課題について、10 年前に発生した京都府南部豪雨について、市としても大変な水害があったことを追加してもよいと思います。

分野 3「暮らしを守る消防・救急体制の充実」について、京都府で平成 25 年以降の早い時期に京都市と府南部の消防指令センターを共同運用する方針があり、一定程度の方向性が示されていますが、市としてどのように対応していくかの記載がないため確認したいです。

【建設部長】

「浸水箇所解消率」については、南部豪雨時の浸水実績や浸水箇所のシミュレーションなどを使用して想定した浸水箇所数を指標として設定しています。ご指摘のとおり、市としてもわかりにくい指標であるため、今後、指標について再検討したいと考えています。また、南部豪雨が発生してから 10 年になりますが、過去の災害の教訓を活かせるよう表現を検討します。

【部会長】

「浸水箇所解消率」は、ポンプが機能しても内水がはけないという理解しています。つまり、ポンプ配水ができない箇所であると考えますが、よりわかりやすい表現を検討いただきたいです。

【消防長】

本年 7 月に京都府消防体制の整備推進計画が改訂されました。将来に渡って、住民の安全安心を守るため、積極的に消防の連携協力を進める必要があることが示されています。連携協力の 1 つの形として、指令センターの共同運用や特殊車両の共同整備などがあります。市民の安全安心を確保し向上する観点から研究・検討を進めていますが、4.目標達成に向けた主な取組の「1.災害対応力の充実強化」で他自治体の連携・協力をする中で議論を進めていきたいと考えています。

【副部会長】

分野 1「災害に強いまちづくりの推進」の 4.目標達成に向けた主な取組の「1.地域防災体制の確立」について、「ハザードマップをはじめとする防災情報の発信を強化」と記載がありますが、防

災情報の発信強化は、自治会からの情報発信ではなく、広報など市から発信する情報発信の強化という理解でよいか確認したいです。

【危機管理監】

市から地域に、あるいは、市民 1 人ひとりに対する情報発信と考えています。防災に必要な情報を市から提供することで、自分たちが住んでいる地域にも災害が起こりうることを意識いただくことが重要であると考えています。また、自主防災組織からの情報発信方法についても、市も一緒に検討していく予定です。

【副部長】

12 月 1 日号の広報にも「家庭や地域でも防災対策を」という記事がありましたが、広報にはたくさんの方が盛り込まれており、また、活字が多く、目につくことが難しいため、情報発信の強化にあたって工夫いただきたいと考えます。

【危機管理監】

広報での情報発信で、毎月 1 回コラムでミニ知識などを掲載するなどの工夫をしています。また、市ホームページや ICT などを活用した情報発信についても今後検討していく必要があるため、情報発信の強化と記載しています。

【部長】

分野 5「上下水道の基盤強化」について、どこの自治体でもインフラの維持・管理が大変であると思いますが、将来ビジョンは、関連する部門計画の中で検討されているという理解でよいか確認したいです。

【上下水道部長】

水道と下水道の 2 つの分野について、昨年度末に策定した「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」と「宇治市公共下水道事業経営戦略」の中で、今後 10 年間の方向性と収支見通しを掲載しています。水道は、人口減少傾向にあるため、水道料金収入が減少しています。下水道は、耐震化と老朽化が進んでいるため更新を進めているところです。そのため、収支改善策として、収入確

保や支出の合理化を掲げており、4.目標に向けた主な取組の「4.上下水道事業の健全経営」の中で委託や広域連携にも取り組んでいきたいというのが大きな方向性です。

(事務局より資料②のまちづくりの土台となる取組の説明)

【部会長】

事務局から説明がありました内容について意見ををお願いします。

【委員】

取組2「多様な主体との連携・協力と担い手づくりの推進」の「1.産学官民(市民・NPO等)の連携・協働」について、ボランティアをする場合に、市のどこに相談に行けばよいか確認したいです。

【産業地域振興部長】

基本的には、各施策を担当している課に問い合わせになると思いますが、自治振興課に相談いただければ関係課につなぐことも可能です。まちづくりを進めるにあたり、地域やNPOの方々と一緒に取り組むことは必要であるため、相談などがあれば自治振興課に連絡いただければと思います。

【委員】

審議会の市民委員に就任以降、市ホームページを見る機会が増えましたが、市ホームページで情報が網羅されていると思います。しかし、市ホームページを活用されているかが問題であると考えます。市ホームページの認知度は把握されているか確認したいです。

【秘書広報課長】

市ホームページは「わかりにくい」「検索方法がわからない」という声を以前から多数いただいています。そのため、土台の取組の中で「わかりやすく」「見やすく」「届きやすい」を意識した工夫をしていきたいと考えています。

【委員】

市ホームページをどの程度の方が利用されているか確認したいです。

【秘書広報課長】

市ホームページの閲覧数は手元に資料がないため正確な回答ができませんが、市ホームページは市外の方も閲覧していただいているため、今後アンケートなどの実施で把握していきたいと考えています。

【部会長】

市ホームページにチャットボットのような仕組みを取り入れている自治体もありますが、宇治市のホームページにそのような機能があるか確認したいです。

【秘書広報課長】

市ホームページの右下に「ちはや姫に質問する」という表示あり、これがチャットボット機能となっていますので活用いただければと思います。

【委員】

取組2「多様な主体との連携・協力と担い手づくりの推進」についてですが、12月2日に開催された近鉄小倉駅周辺のまちづくり基本構想の説明会に参加しました。その中で「市のまちづくりがどのようになっているのか」という質問が多くあり、住民の意識も変えていく必要があると感じました。多様な主体との連携・協働の中の具体的な取組について検討していることがあれば確認したいです。

【産業地域振興部長】

まちづくりの説明会は、都市整備部で実施しています。今後もさまざまな形で、自治会・町内会単位での説明会や意見交換会の実施、また、他の部局で実施している出前講座などさまざまな形で市民のみなさまの意見を聞き、取組に反映していきたいと考えています。

【委員】

自分自身も思うことがたくさんあるため、友人を連れて、そのような場に参加しているため、今後も引き続き参加していきたいと考えています。

【委員】

取組 2「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」について、主語は市であると思いますが、「産学官民等」の「官」は何を示しているか確認したいです。国や公的部門全体を指すことが多いですが、具体例には記載されていません。また、「民」は市民だけではなく、産業界も含めた言葉として一般的に使用されます。「民」を市民とNPOに限定する場合は、言葉の並び順として最後でよいか疑問です。このように見出しの言葉遣いや並び順は工夫が必要であると思います。

【事務局】

「官」は公的機関を意味しており、国や府、近隣市町村も含めています。また、「民」は市民やNPOを中心としていますが、並び順については再検討します。

【委員】

協働の概念として、1番最初の協働相手は市民であるため、その部分を強調してもよいと思います。

【副部長】

取組 2「多様な主体との連携・協力と担い手づくりの推進」の「連携・協働を促進する拠点や仕掛けづくりの推進」の「仕掛けづくり」という言葉の意味を確認したいです。

【産業地域振興部長】

さまざまな主体の連携・協働を進めるため、集まってもらうための拠点や話し合っていたくテーマなどのきっかけづくりを含めて「仕掛けづくり」と表現をしています。

【部長】

空間づくりについて、宇治橋通り商店街などは面白い取組をしているところもあり、民間も含めて仕掛けづくりが上手く進んでいると理解しています。このような取組について、他の地域への展開は予定されているか確認したいです。

【政策経営部長】

中宇治地域の取組は、現在、市民が率先して取り組んでいます。本年度、子育てにやさしいプロジェクトで中宇治地域をモデル地域として「子育て」をキーワードにしたまちづくりに取り組んでいます。そこで、活動団体やNPOの取組と連携しながら、さまざま取組を展開しています。このような取組を通して、地域のコミュニティの活性化につなげていきたいと考えています。

また、公共施設としての拠点づくりや空間づくりに取り組んでいるため、来年度以降も他の地域に展開していきたいと考えています。ただし、地域により状況が異なるため、展開方法には検討が必要と考えています。

【部会長】

地域の特性を活かした取組を展開できるとよいと思います。

【副部会長】

取組3「将来を見据えた持続可能な行財政運営」の「サービスの量の拡大ではなく、品質向上による行政サービスの向上を実現します」と記載されていますが、「サービスの量」は何を示しているか確認したいです。また、「サービスの量の拡大ではなく」という表現は、これまでの取組を否定するような印象があり気になります。

【事務局】

これまでの人口増加局面では、いかに量的に拡大し対応していくかが課題でしたが、今後予測される人口減少局面では、ニーズも多様化しているため、質の向上が求められていると認識しています。量の拡大だけではなく、質の向上への転換が必要になっていると理解しています。

【副部会長】

これまでの取組も成果と仕上がっているため、否定的な表現ではなく、追加でという表現がよいと思います。

4. 閉会

【部会長】

それでは、本日の議論はこのあたりで閉会とさせていただきます。

最後に事務局からお願いします。

【政策経営部長副部長】

本日はみなさまの貴重な時間をいただきありがとうございました。総合計画第1期中期計画に関して意見をいただきありがとうございました。

本日のテーマに関して、「災害対策」「防犯」「消防」「上下水道」「自主防災」「情報発信のあり方」など、市民の安全安心に関わる部分について、多岐に渡る意見をいただきました。また、土台となる取組では、市として今後まちづくりにどのように取り組んでいくかという姿勢を計画にどのように反映させていくか検討していきたいと考えています。

【部会長】

それでは以上をもちまして、本日の審議会は閉会したいと思います。

長時間に渡りましてどうもありがとうございました。

---了---